

地域力が支える 空からも見える豊かなみどりを 未来を担う子どもたちに贈ります

基本方針

I 地域力を活かし、笑顔につながるみどりをみんなで育てます

20年後には、たくさんのまちにふれあいパーク活動が広がっています。

目標 現在 126団体 → 20年後 200団体



II 空からも見える骨太なみどりで たくさんの人々をもてなします

20年後には、空からの玄関口である空港臨海部がみどり豊かになっています。

目標 空港臨海部埋立地での新たな公園・緑地の整備量 現在 0ha → 20年後 10ha



III 大田区ならではの誇れる多様なみどりを 未来へ引き継ぎます

20年後には、直径40cmを超える大木が大切に育てられ増えています。

目標 直径40cm以上の樹木(公園・緑地、街路樹を除く)の本数 現在 10,224本 → 20年後 15,000本



IV 暮らしを支え、こころ豊かになるみどりを増やし、つなげます

20年後には、すべての地域に身近な公園が配置されています。

目標 暮らしを支える身近な公園の充足率 現在 97% → 20年後 100%



みどりの配置方針図



70.0%

区民の7割が満足!

緑被率

現在 20.47% → 20年後 21.5%

1%アップ! 約60haの緑が増加 (大田スタジアム24個分)

6 計画の推進に向けて

1 協働の推進

- 区民・事業者・行政の各役割
- 地域力に支えられたみどりのまちづくりの推進
- 地域力によるみどりのまちづくりのスパイラルアップ

地域力を活かし、区民・事業者・行政すべてが力を合わせていくことが重要です。そのためには、それぞれの立場で自発的に行動していくこと、そしてそれぞれが連携・協働していくことが必要です。

2 重点施策の推進

各重点施策の今後5～10年の取組み方針

- 総合的な重点施策：(仮称)大田区みどりの条例の制定と運用
- 基本方針(I・II・III・IV)に基づく重点施策

前計画の実績評価などを踏まえ、今後5年間に優先的・重点的に取組む32の施策を選びました。施策の推進にあたっては、すべての取組みにおいて区民・事業者・国・東京都などとの連携・協働が必要です。

3 制度活用と財源確保

- 既存制度の活用
- 財源の確保

近年の社会経済状況の変化により、各事業の実施に必要な財源の確保は、ますます厳しくなっています。各種施策を適切かつ確実に実施していくためには、これまで以上に既存のさまざまなみどりのまちづくり制度の活用し、また財源の確保に努めていきます。

4 進行管理

- PDCAサイクルを取り入れた計画推進
- グリーンプランおた推進会議による進行管理

区民・事業者・行政が一体となった地域力によるまちづくりを目指すためには、適切かつ透明性のある進行管理が重要となります。そこで、立案プロセスから計画改善までの流れを、PDCAサイクルにより進行管理していきます。

みどりの将来像の実現

地域力によって支えられたみどりが 未来を担う子どもにも引き継がれていきます!

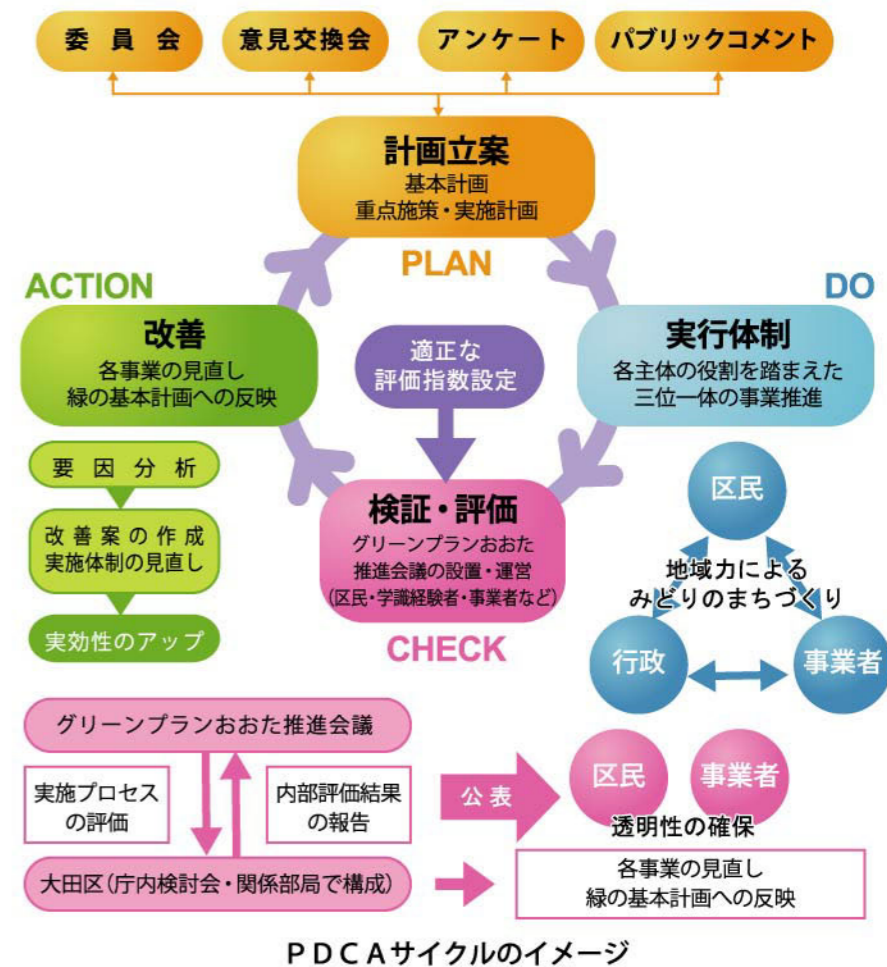
高められた地域力によりさらに みどりのまちづくりが進められます!

さらに人と人のつながりが深まります (地域力アップ!)

地域力に支えられたみどりのまちづくりが 進められます(連携・協働)

みどりが人をつなぎます(地域力)

地域力によるみどりのまちづくりのスパイラルアップ



お問い合わせ

大田区 まちづくり推進部

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

Tel 03-5744-1303 Fax 03-5744-1530